

## 行政経営会議の内容

<b>件名</b>	大和市道路整備計画の策定について
<b>所管部</b>	まちづくり部
<b>日時・場所</b>	令和8年2月20日(金) 9:20 ~ 10:15 研修室
<b>出席者</b>	市長、副市長、教育長、市長室長、未来政策部長、総務部長、市民経済・にぎわい創出部長、環境共生部長、健幸・スポーツ部長、あんしん福祉部長、こども部長、まちづくり部長、市立病院事務局長、議会事務局長、消防長、教育部長、まちづくり総務課長
<b>提出理由</b>	大和市道路整備計画を策定するにあたり、その内容について了承を得るため
<b>会議経過</b>	<p><b>【主な意見等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の「安全・安心の視点」において、通学路の安全という視点で質問をしたい。これまで、教育部では通学路安全プログラムに基づき、通学路の危険箇所の改善について、道路整備部門への要望を行ってきたところであるが、本計画は通学路の安全確保への後押しとなるのか。あわせて、周辺では国際園芸博覧会の開催等が控えており、今後、交通量の増加が予想される中、どのような対策を考えているのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(所管部) 安全・安心の視点に関して、通学路の安全は大変重要であると捉えている。</li> <li>計画では通学路を含めた生活道路への通過交通の流入抑制や速度抑制対策、交通安全対策の推進を掲げており、こうした対応を進めていきたい。</li> <li>また、これまでも、道路整備部門では教育部と情報交換をしながら必要な対応を実施してきたが、今後、本計画を踏まえ、これまで以上に情報連携を行うとともに、国際園芸博覧会協会や横浜市との連携強化を図っていく。</li> </ul> </li> <li>・本計画は法定計画か。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(所管部) 法定計画ではない。これまで道路整備という視点での計画はなかったが、国際園芸博覧会の開催など周辺環境の変化を捉え、今後の道路整備のあり方を整理する必要があることから本計画を策定した。本計画はまちづくりの基盤となる計画となると考える。</li> </ul> </li> <li>・道路整備の優先度を定めているが、整備を進めるための費用や財源についてはどのように考えているのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(所管部) 費用の算出はしている。計画にも記載しているとおり、財政状況を見ながら整備を進めるものであり、必ず実施するものではない。あくまでも道路整備の優先度を示すものである。</li> <li>また、整備にあたって、国や県の補助金を申請するうえでも、本計画が根拠の一つになると考える。</li> </ul> </li> <li>・5～20年等、事業化を進めるための期間を明確にしているが、この期間に必ず整備を進めるものと捉えられ、財政健全化を進める中で大きな影響を及ぼしてしまうのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(所管部) 都市計画道路を定めた以上、道路の整備に関する具体的な市の考えを示す必要はあると考える。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政健全化に向けて全庁を挙げて進めているところであり、令和8年度予算は各部の大きな努力により一定の成果を上げることができたと捉えている。今後も健全化を進める必要がある中、道路整備を優先して進めるようなメッセージとして受け取られないようにしてもらいたい。</li> <li>・ 道路整備を進めることで広域的な道路ネットワークが形成され、少なからず企業誘致に繋がるものとする。また、南北の道路を整備することで渋滞の緩和にも寄与すると考える。</li> <li>・ 事業化を見送る路線については都市計画道路の廃止を行うのか。        (所管部) 今後、状況を見ながら都市計画道路の廃止を検討していく。なお、本計画においては新規の路線の検討をしているものではなく、あくまでも現状の都市計画道路の優先度を示すものとしている。</li> <li>・ 来年度、危機管理課では地域防災計画を改定する予定であり、まちづくり部と連携しながら進められるようにしたい。        また、市内の防災上の危険箇所についても解消に努めてほしい。</li> <li>・ 本計画は、財政健全化ビジョンを出している中で新たに策定することから、大変重要なものである。この計画に限らず様々な計画について、今後は財政健全化を進める必要があることに加え、国際園芸博覧会等の外的要因がある中、その進行管理をしっかりと行い、必要に応じて全庁的な会議等で共有するようにしてほしい。        (所管部) これまで道路整備の計画を策定してこなかったのは、大和市が、鉄道の設置にあわせて区画整理や民間企業の宅地分譲などにより道路整備を進めてきたことが背景にある。現在の大和市においては大規模な区画整理や再開発を進めるような状況にはない。一方で、本市が今後も発展をしていくためにも、道路整備は企業誘致などの一助になり、財政が厳しい中ではあるが、防災や消防の面でも様々な効果があると考え、あわせて国や県との調整の根拠とするうえでも有用な計画となるため、皆さんの協力を賜りたい。</li> <li>・ 横浜の旧上瀬谷通信施設地区周辺では新たなインターチェンジができる予定である。本市においても、未来的な思考をもって、早い段階からインターチェンジ設置の可能性の検討を進めてほしい。        また、現在、財政健全化を進めているところであるが、厳しい財政状況にとらわれ過ぎることなく未来的な思考を持って計画することも必要である。道路を整備すると人と物が動き経済も動く。これまで大和市は人が住むということに重点を置いて取り組んできた。子どもへの投資や高齢者福祉も重要ではあるが、より稼げる都市を目指すためにも道路整備といった企業誘致や観光誘客につながることを期待できる投資的経費は重要であるので、未来に向け、協力しながら進める必要があると考える。</li> </ul>
<p><b>会議結果</b></p>	<p>案のとおり、進めていく。</p>